

# 暫定認定の移行申請の手引き

(20210331 版)

暫定認定から本認定への移行を希望される方は、2021年4月1日～5月31日の期間に移行申請を行ってください。2022年度より暫定期間の特別措置は終了しますので、今後の移行申請の受付の延期はございません。

下記にご注意ください。

- 2021年度の移行申請においては、症例審査等が不合格になった場合、以後の移行申請受付はございません。改めて本認定制度での認定申請を行ってください。
- 2019年度又は2020年度に移行申請の審査に合格しなかった方は、2021年9月30日までの期間は認定薬剤師であることを名乗ることはできません。

目次	第1章 暫定認定からの移行申請の手順
	第2章 申請画面の操作手順



## 第1章 暫定認定からの移行申請の手順

### (1) 移行申請の手順

申請受付期間に、事務局から発行された ID・パスワードを用い、日本老年薬学会ホームページ内の「会員専用」ページに入り、「資格認定申請」の Web 画面から手続きを行ってください。

web 画面上の「資格認定申請」画面内で申請に必要な、(1) 移行審査料の受領証の提出、(2) 8 単位取得に関する申請書提出、(3) 実技実習等 3 項目の受講に関する申請書提出、(4) 症例 7 症例の入力、(5) 確認テストへの解答、を行うことができます。

- 提出されたファイルデータの内容をこちらで確認できない場合には、再度提出をお願いしますので、**提出書類の原本は認定審査が終了するまで必ず保管**してください。
- Web 画面上からアップロードする書類等のファイルをパソコンに保存する際のファイル名は、特に指定はありません。
- 申請受付期間内であれば、入力内容の修正、一度アップロードした書類等の再アップロードが可能です。申請受付期間後の修正等はありません。
- 注意：2 及び 3 は、2016 年 1 月 (学会設立) ～2021 年 5 月 31 日までの受講分が有効となります。**  
(暫定認定申請に用いたものは使用できません)
- web 画面上での操作、アップロードの手順については第 2 章をご参照ください。

表：提出物等の一覧表

申請要件		手続き
1	移行審査料の受領証の提出	<p>移行審査料 5,500 円を下記にお振込いただき、「振替払込請求書兼受領証」の PDF もしくは JPEG をアップロード。</p> <p>1) 郵便振替            番号 00110-7-487060            名義 一般社団法人日本老年薬学会(いっばんしゃだんほうじん にほんろうねんやくがっかい)</p> <p>2) ゆうちょ銀行 (ネットバンキングの場合)            店番 〇一九            当座            番号 0487060</p>
2	8 単位取得に関する申請書提出	<ul style="list-style-type: none"> <li>様式 5 (単位取得申請書) に老年薬学会の単位シールを貼付し、PDF もしくは JPEG をアップロード。</li> <li>2020 年、2021 年の日本老年薬学会学術大会は、緑色の単位シールに代わり、参加証 (6 単位/1 枚) を単位として扱う</li> <li>2021 年 2 月 21 日開催公開シンポジウムの単位は、学会サイト会員ページ「参加行事閲覧」からダウンロード (※1 参照)</li> <li>単位シールが発行されなかったものについては、様式 6 (単位換算申請書) も申請してください。なお、<u>単位換算のみにより単位申請する場合も、様式 5 (単位取得申請書) を提出してください。</u>これらを 1 つの PDF ファイルにしてアップロードしてください (※2 参照)。</li> <li>様式 6 (単位換算申請書) により単位換算を行う場合は、証明する資料</li> </ul>

		(※2 の表を参照) も一緒に PDF ファイルとし提出する必要があります。資料がないものについては無効となります。
3	実技実習等 3 項目の受講に関する申請書提出	<ul style="list-style-type: none"> <li>様式 7 (実技実習等受講申請書) に実習受講証明書を貼付し、PDF もしくは JPEG をアップロード。</li> <li>2020 年 11 月以降のワークショップの受講証明書は、学会サイト会員専用ページ内「参加行事閲覧」にてダウンロード (※1 参照)</li> <li>実習受講証明書が発行されなかったものについては、様式 8 (実技実習等出席証明書) または様式 9 (実務従事証明書) を提出してください。なお、「実習受講証明書」以外のみにより申請する場合も、<u>様式 7 (実技実習等受講申請書) を提出</u>してください。これらを 1 つの PDF ファイルにしてアップロードしてください (※3 参照)。</li> <li>様式 8 (実技実習等出席証明書) を用いる場合、「受講を証明できる認定証、修了証、領収書、参加証等」または「主催者記入欄への記入」が必要となります。これらが無い場合、無効となります (「11-B 救命救急・AED」については、日本赤十字社や消防署等が交付した認定証がある場合は、不要)。</li> <li>様式 9 (実務従事証明書) を用いる場合は、1 つのコードにつき、1 枚の様式 9 (実務従事証明書) を提出してください。</li> </ul> <p>※ 2019 年 3 月以前の旧バージョンの様式 8 (実技実習等出席証明書) にて主催者記入欄に記載がある申請書類を作成された方は、旧バージョンを申請に用いていただいて問題ありません。</p>
4	症例の報告 (7 症例)	<ul style="list-style-type: none"> <li>業務を通じて高齢者の薬物療法の有効性または安全性に直接寄与した症例 (「症例の手引き」を参照) 7 例を web 画面に入力してください。</li> <li>各項目には文字数制限がありますが、Web 画面の症例報告入力フォーム上では、入力した文字数は表示されません。一度、word や excel 上にて作成し、文字数が制限内であることを確認した後に、入力フォームに文字を貼り付けてください。</li> <li>web 画面上で入力した症例を受付期間後に出力することはできませんので、症例報告準備用フォーマット (word) で作成し、ご自身で保管してください。</li> </ul>
5	確認テスト (※4 参照)	<p>申請画面内の 3 種類の確認テストの「解答」をクリックし、問題に解答してください。各確認テストの正答率が 8 割以上で合格となります。2 回まで解答することができます。</p> <p>※2020 年度に移行申請を行い、「合格」の判定であった者は、2021 年度の移行申請時の確認テストの解答は不要。</p>

※1：単位又は受講証明書のダウンロード

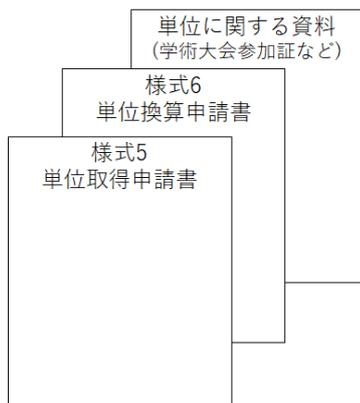
会員ページの「参加行事閲覧」から単位または受講証明書をダウンロードし、余白は切り落とし、申請書に貼付してください。



参加行事閲覧

「参加証明書」をクリック

※2：様式6（単位換算申請書）を用いる場合のPDFファイル作成の方法

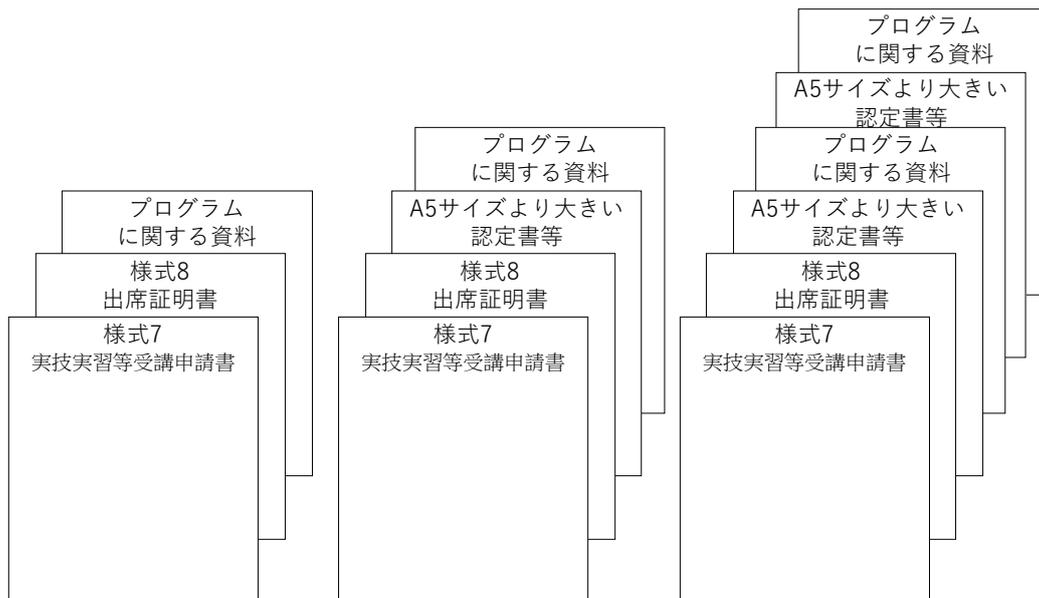


- 様式6（単位換算申請書）を用いる場合は、左記のように資料を並べてスキャンし、1つのPDFファイルにする。
  - 単位換算のみにより単位申請する場合も、様式5（単位取得申請書）を提出してください。
- ※2020年、2021年日本老年薬学会学術大会の参加証は様式6ではなく様式5（単位取得申請書）に貼付してください。

表：単位換算において添付が必要な資料

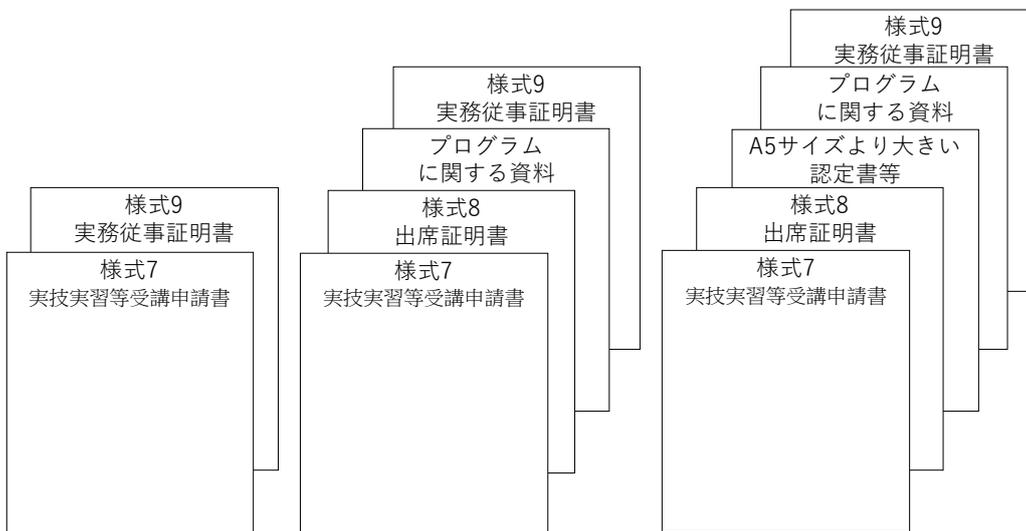
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 日本老年薬学会学術大会での発表（筆頭演者に限る）：2単位</li> <li>• 日本老年学会に加盟している7学会（日本老年医学会、日本ケアマネジメント学会など）での発表（筆頭演者に限る）：2単位</li> </ul>	発表要旨 pdf の添付
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 日本老年薬学会学術大会、本学会が主催する研修会のシンポジウム、講演の演者・講師：2単位</li> </ul>	講演概要がわかる資料 pdf の添付
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 下記雑誌に掲載された論文（ファースト、コレスポに限る）：2単位 <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 日本老年薬学会学術雑誌</li> <li>➢ 日本老年学会に加盟している7学会の学術雑誌</li> <li>➢ 老年薬学に関する英語論文掲載</li> </ul> </li> <li>• 医療系学会誌、医療職能団体発行雑誌、医療系商業誌における老年薬学に関する総説や解説（ファーストに限る）：2単位</li> </ul> <p>*論文及び総説等は、申請時から遡って過去10年以内に掲載されたものに限る</p>	論文 pdf の添付
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 本学会が企画する e-learning の受講 <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ メディカルナレッジにおいて分野「老年薬学」に該当する講座 <a href="https://www.medical-knowledge.net/koza/">https://www.medical-knowledge.net/koza/</a></li> <li>➢ 3講座（30分/1講座）1単位</li> <li>➢ 申請に使用可能な単位の上限：4単位</li> </ul> </li> </ul>	メディカルナレッジのサイトからダウンロードした受講修了証 pdf の添付
<ul style="list-style-type: none"> <li>• その他学会の学術大会・年会への参加：1回の参加2単位（参加日数に関わらず1回とカウントし、1学会の学術大会・年会の参加を2単位とする） <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 日本老年学会に加盟している7学会（日本老年医学会、日本ケアマネジメント学会など）への参加</li> <li>➢ 本学会が指定する医療系学会の学術大会・年会への参加</li> </ul> </li> </ul>	学術大会参加証 pdf の添付（領収書は不可）
<p>※本学会が指定する医療系学会：日本薬剤師会学術大会（地方単位及び県単位の薬剤師学術大会も含む）／日本病院薬剤師会各ブロック学術大会（県単位の病院薬剤師会学術大会及び Future Pharmacist Forum も含む）／日本薬学会年会（医療薬学フォーラム、地方会も含む）／日本医療薬学会年会／日本褥瘡学会／日本緩和医療薬学会／日本臨床腫瘍薬学会／日本静脈経腸栄養学会／日本化学療法学会／日本腎臓病薬物療法学会／日本糖尿病学会／日本骨粗鬆症学会／日本プライマリ・ケア連合学会／日本在宅薬学会</p>	

※3-1：様式8（実技実習等出席証明書）を用いる場合のPDFファイル作成の方法



- 様式8（実技実習等出席証明書）を用いる場合は、上記のように資料を並べてスキャンし、1つのPDFファイルにする。
- 実習受講証明書以外のみにより申請する場合も、様式7（実技実習等受講申請書）を提出してください。

※3-2：様式9（実務従事証明書）を用いる場合のPDFファイル作成の方法



- 様式9（実務従事証明書）を用いる場合は、上記のように資料を並べてスキャンし、1つのPDFファイルにする。
- 実習受講証明書以外のみにより申請する場合も、様式7（実技実習等受講申請書）を提出してください。

※4：確認テストの出題範囲

「高齢者医療に関わる指針・ガイドライン（カリキュラムコード 4）」、「高齢者の薬物治療に関わるガイドライン（カリキュラムコード 6）」、「高齢者施設や在宅の環境整備（カリキュラムコード 10）」の 3 分野となります。

高齢者医療に関わる指針・ガイドライン	日本老年医学会による「高齢者ケアの意思決定プロセスに関するガイドライン 人工的水分・栄養補給の導入を中心として(平成 24 年)」10 問
	「高齢者の終末期の医療およびケア」に関する日本老年医学会の「立場表明 2012」10 問
	「高齢者に対する適切な医療提供の指針」10 問
高齢者の薬物治療に関わるガイドライン	日本老年医学会による「高齢者の安全な薬物療法ガイドライン 2015」（web 上からダウンロード可能なのは一部のみです。メジカルビュー社から出版されている書籍をご購入ください）
	<p>総論 I～III 15 問</p> <p>領域別指針 35 問</p> <p>1) 精神疾患、神経疾患 6 問</p> <p>2) 呼吸器疾患、循環器疾患、高血圧、腎疾患、消化器系疾患 10 問</p> <p>3) 糖尿病、脂質異常症、泌尿器疾患、筋骨格疾患 8 問</p> <p>4) 漢方薬、在宅医療、介護施設の医療 6 問</p> <p>5) 薬剤師の役割 5 問</p>
高齢者施設や在宅の環境整備	平成 24 年度厚生労働省老人保健事業推進費等補助金（老人保健健康増進等事業分）介護施設の重度化に対応したケアのあり方に関する研究事業による「高齢者介護施設における感染対策マニュアル（平成 25 年 3 月）」（web 上からダウンロード可能） 20 問

(2) 認定審査の結果

- 秋頃（9 月中）にマイページにて、審査結果を開示いたします。
- 審査結果の開示について、E-mail で連絡いたしますので、予め当学会からの送信メールを受信できるよう、学会の登録情報を常に最新に更新していただくとともに、迷惑メール等に分類されないようメールソフトを設定してください。

## 第2章 認定申請画面の操作手順

### ● 申請に必要な書類の pdf ファイルの作成

1. 申請書類は、老年薬学ホームページの「認定薬剤師制度」の中の、「認定申請書類、手引き等（暫定認定から本認定への移行）」にてダウンロードすることができます。
2. 自筆以外の箇所は、word で入力でも、印刷したものに手書きいただいてもどちらでもかまいません。
3. ご自宅等にスキャナーがない場合には、コンビニに設置されているマルチコピー機にて PDF ファイルを作成することが可能です。USB メモリーをコンビニに持参し、マルチコピー機のスキャンサービス（1回 30 円）で、お手持ちの書類の PDF ファイル版を USB に保存することができます。
4. 申請する書類の pdf ファイルの名前に指定はありません。

### ● 認定申請画面へのログイン

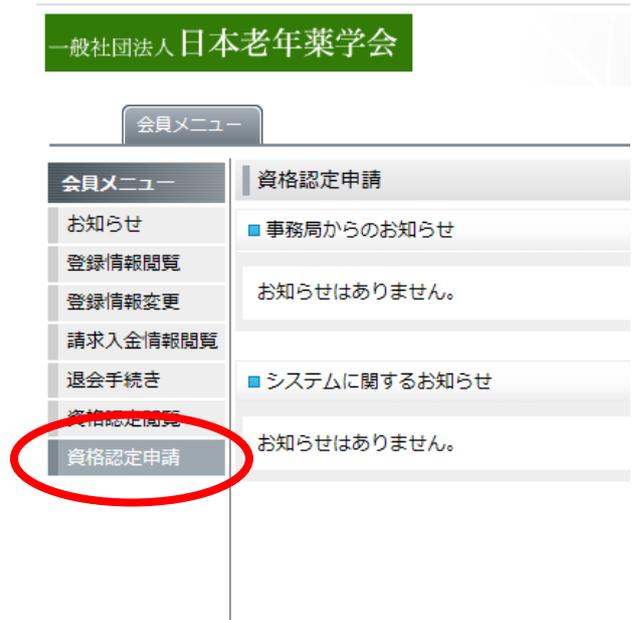
1. 日本老年薬学会ホームページの画面上部右側にある「会員専用」をクリックしてください。



2. 会員限定ページログインが表示されますので、事務局より発行されたログイン ID とパスワードを入力し、ログインしてください。



3. 画面向かって左側の一番下にある「資格認定申請」をクリックしてください。



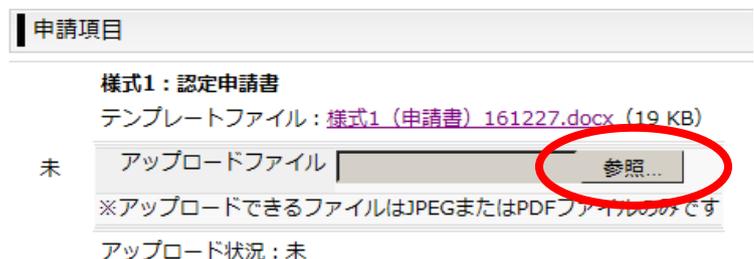
4. 「申請」のボタンをクリックしてください。「申請」は申請受付期間のみ表示されます。



5. 申請項目のページが開き、ここで、(1) 各種申請書の提出、(2) 7 症例の入力、(3) 確認テスト (3 種類) への解答、を行うことができます。

● 申請に必要な書類のアップロードの手順

1. 申請する書類の pdf ファイルの名前に指定はありません。
2. 申請画面の「参照...」をクリックし、保存した pdf を選択。



- アップロード状況の右側に下記のように先ほど選択したファイル名が表示され、左側に「済」の文字が表示されていれば、問題なくアップロードできています。

申請項目

様式1：認定申請書

テンプレートファイル：様式1 (申請書) 161227.docx (19 KB)

済 アップロードファイル 参照...

※アップロードできるファイルはJPEGまたはPDFファイルのみです

アップロード状況：様式1 (申請書) 161227.pdf (171 KB) 2017.03.25 00:42

- 誤ったものをアップロードしてしまった場合には、再度、「参照...」をクリックし、正しいファイルを選択し直すことで、新たなファイルがアップロードされ、置き換わります。

## ● 症例の入力

- [症例報告 (必要登録数：7)]の箇所にある「詳細」をクリックしてください。

症例報告 (必要登録数：7)

未 詳細

状況：未登録

コード4 高齢者医療に関わる

- 「症例報告新規登録」をクリックしてください。

資格認定申請

症例報告 (必要登録数：7)

症例報告新規登録

戻る

- 入力画面が表示されますので、こちらに入力をしてください。各項目には文字数制限がありますが、症例報告入力フォーム上では、入力した文字数が表示されません。一度、word 等にて作成し、文字数が制限内であることを確認した後に、入力フォームに文字を貼り付けてください。

資格認定申請

症例報告入力フォーム

※項目は全て必須入力です。

症例\*

年齢\* 歳

性別\*  男性  女性  不明

患者病歴\*

現病歴 (病名)\*

介入時考慮した検査値\*

その他の介入時検査所見\*

薬の管理者\*

生活状況\*

服用できない剤形\*

薬剤有害事象\*  無  有

薬の管理方法\*

介入時の投薬状況\*

4. 下部にある「一時保存」をクリックすることで入力中でも入力内容を保存することができます。

A screenshot of a web form interface. The form has two main input areas. The top area is labeled '多職種などとの連携内容\*' and the bottom area is labeled '介入結果および考察\*'. Below the input areas, there are two buttons: '登録確認画面へ' and '一時保存'. The '一時保存' button is circled in red. At the bottom left, there is a '戻る' button. The footer contains the text 'Powered By SMMS Copyright(c) TOKYO COMPUTER SYSTEM CO.,LTD.All Rights Reserved.'

5. 全ての項目について入力が完了したら、「登録確認画面へ」をクリックしてください。

A screenshot of the same web form interface as in step 4. The '登録確認画面へ' button is circled in red. The '一時保存' button is also visible. The '戻る' button is at the bottom left. The footer contains the text 'Powered By SMMS Copyright(c) TOKYO COMPUTER SYSTEM CO.,LTD.All Rights Reserved.'

6. 入力漏れや、文字数が上限より多い場合には、画面の下部に赤字でエラー内容が表示されます。

A screenshot of the web form interface showing error messages. The error messages are displayed in red text: '患者背景 は 150 文字以内で入力してください。' and '介入時考慮した検査値 は必須入力です。'. The '登録確認画面へ' and '一時保存' buttons are visible above the error messages. The '戻る' button is at the bottom left. The footer contains the text 'Powered By SMMS Copyright(c) TOKYO COMPUTER SYSTEM CO.,LTD.'

7. 過不足なく項目を埋めた後に、「登録確認画面へ」をクリックしてください。[症例報告確認]画面が表示されますので、「登録」をクリックしてください。また、「登録」をクリックした後も、登録内容の修正は可能です。

資格認定申請	
症例報告確認	
症例	〇〇〇〇〇
年齢	12歳
性別	男性
患者背景	〇〇〇〇〇
現病歴(病名)	〇〇〇〇〇
介入時考慮した検査値	〇〇〇〇〇
その他の介入時検査所見	〇〇〇〇〇
薬の管理者	〇〇〇〇〇
生活状況	〇〇〇〇〇
服用できない剤形	〇〇〇〇〇
薬剤有害事象	無
薬の管理方法	〇〇〇〇〇
介入時の投薬状況	〇〇〇〇〇
介入終了時の投薬状況	〇〇〇〇〇
服薬アドヒアランス(介入時)	極めて不良
服薬アドヒアランス(介入終了時)	極めて不良
プロブレムリスト	〇〇〇〇〇
服薬支援・管理・処方介入など具体的内容	〇〇〇〇〇
多職種などとの連携内容	〇〇〇〇〇
介入結果および考察	〇〇〇〇〇

**登録**

戻る

Powered By SMMS Copyright(c) TOKYO COMPUTER SYSTEM C

8. 下記が、一つの症例の登録が完了した画面です。手順2からの操作を繰り返し、7症例登録してください。「戻る」をクリックすると、[申請項目]のページに戻ります。

会員メニュー	資格認定申請
お知らせ	症例報告(必要登録数:7)
登録情報閲覧	症例報告新規登録
登録情報変更	
請求入金情報閲覧	
退会手続き	編集 印刷 <b>削除</b> 〇〇〇〇〇 2017/01/26 01:11 済
資格認定閲覧	
資格認定申請	<b>戻る</b>

9. 7症例の登録が完了すると、[申請項目]のページに「済」が表示されます。

資格認定申請	
症例報告(必要登録数:7)	
<b>済</b>	詳細
状況:7件登録済み 2017/01/26 01:18	

● 確認テストへの解答

1. 「解答」をクリックし、すると問題が表示されます。1問1答の○Xを選択する方式です。
2. 2回まで解答できます。
3. 正答率が80%以上であると、「済」と状況の箇所に「合格」が表示されます。



● 申請の完了

1. 全ての書類の提出、症例7症例の入力、3種類の確認テストに合格した後に、申請項目の画面の下部にある「申請」がクリックできるようになります。「申請」をクリックしてください。



2. 必ず、申請状況が「申請済み」になっているか確認してください。



3. 申請受付期間内であれば、申請状況が「申請済み」となっても、書類等の再アップロード、症例の修正は可能です。